

形……

錯視図形

地と図

比例

装飾

インテリアコーディネーターをめざす人の
ための資料室です。

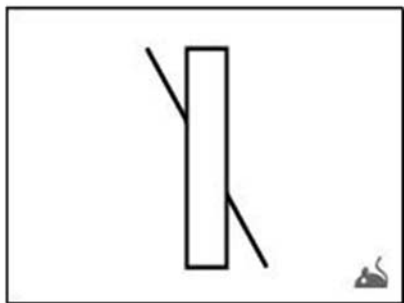
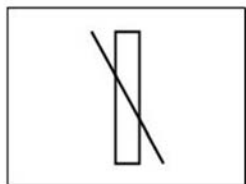
This Homepage……

of the Interior Coordinator,
by the Interior Coordinator,
for the Interior Coordinator.



Interior Zukan

●ポッケンドルフの図形

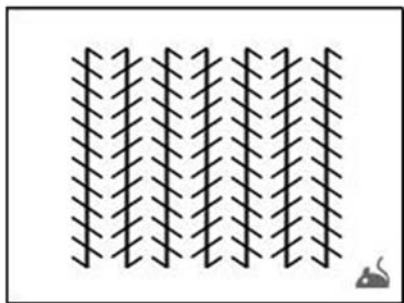
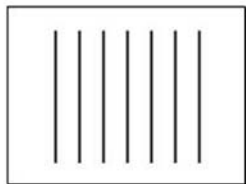


同一線上にある直線がずれて見える。



Interior Zukan

●ツエルナーの図形

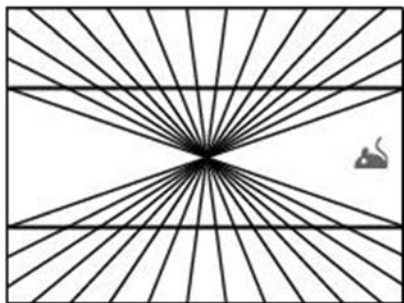
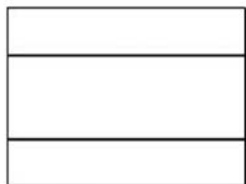


方向の異なる斜め線で平行線が平行に見えなくなる。

●ヘリングの図形



Interior Zukan

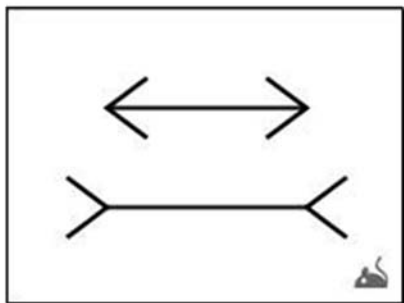


放射線によって平行な2つの直線が湾曲して見える。

●ミューラー・リアーの図形



Interior Zukan

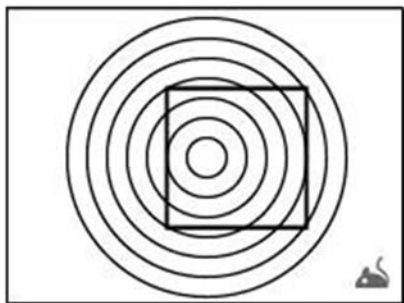
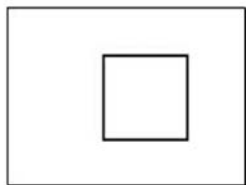


同じ長さの線が長短に見える。



Interior Zukan

●オービソンの図形

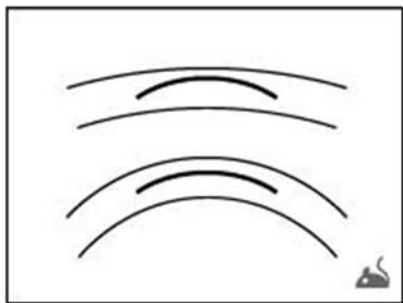
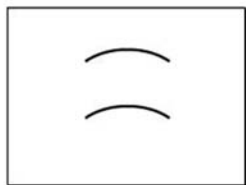


四角形が同心円の作用で湾曲して見える。

●ヘフラーの湾曲



Interior Zukan

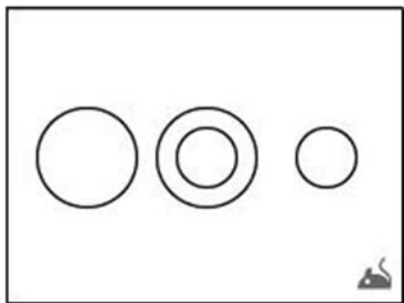
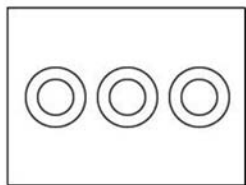


対比の図形 間に挟まれた同じカーブの曲線
が異なったものに見える。

●テルブックの図形



Interior Zukan

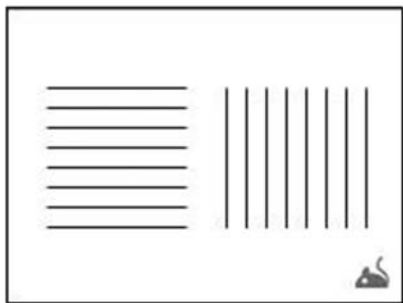
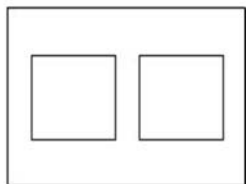


同じ大きさの円が違って見える見える。

●ヘルムホルツの図形



Interior Zukan

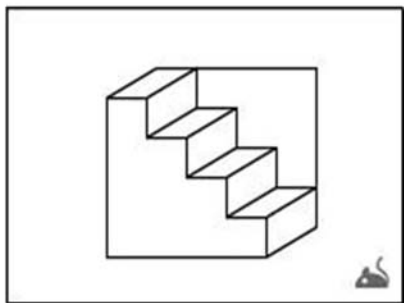
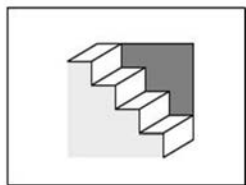


線の方向によって正方形の大きさが違って見える。

●シュレッダーの階段



Interior Zukan

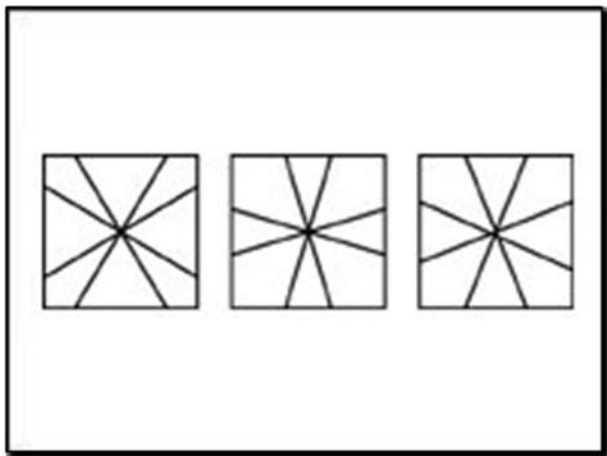


図形が反転して見える。



Interior Zukan

●水平・垂直

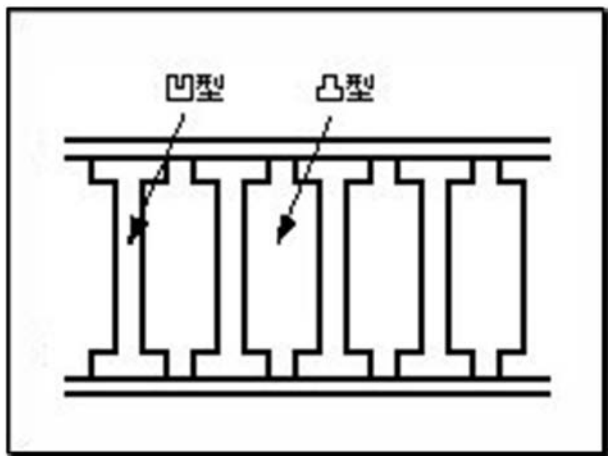


垂直、水平方向に広がったものが図形になりやすい。



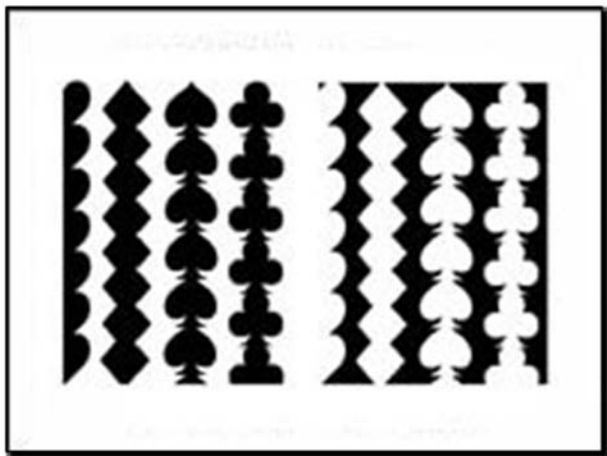
Interior Zukan

●凸型・凹型



凸型と凹型では、凸型のほうが図形になりやすい。

●対象形



左は黒いほうが対象形なので図形として認められる。右は白いほうが対象形なので図形として認められる。



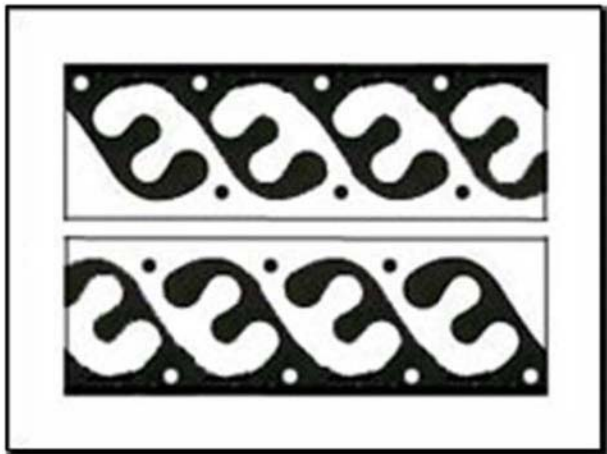
Interior Zukan

● 囲まれたもの



囲む黒い線よりも、囲まれた白地の部分が
図形として認められる。

●上部・下部



上は、白い波形（下部）が図形として認められやすい。下は、黒い波形（下部）が図形として認められやすい。

●ルビンの壺



Interior Zukan



ルビンという人が1921年に発表した「壺と顔図形」です。壺に見えたり、人間の横顔に見えたりしませんか？

●妻と義母



斜め後方を向いている若い婦人か、右を向いた老婆の横顔か、あなたはどちらに見えますか？婦人の耳と老婆の目、婦人の顎と老婆の鼻、婦人のネックレスと老婆の口がそれぞれ対応しています。1930年に発表されました。



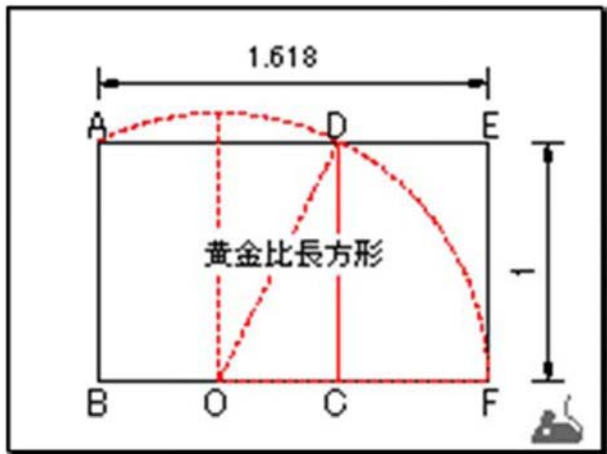
Interior Zukan

●化粧台の前の女性



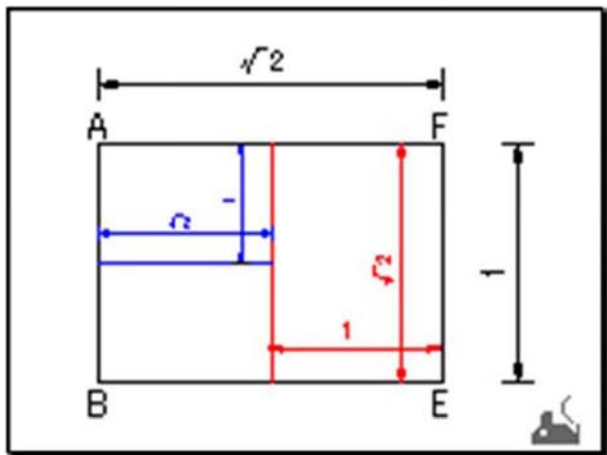
近くから見ると化粧台の前に座っている女性の絵が見えます。目を遠ざけて見ると、ドクロが見えます。このように、同じ絵でも近くから見たときと、遠くから見たときで違うものに見えることがあります。

●黄金比長方形(黄金分割)



ある線を二分したとき、小さい部分と大きい部分との比が、大きい部分と全体との比に等しくなるような、分割を黄金分割といい、その比を黄金比という。

●ルート長方形



長方形の短辺を1として、長辺をルート2に、ルート3、ルート5などの無理数にした長方形で、なかでもルート2長方形は2分割しても1対ルート2であることから紙の規格などに応用されている。

●麻の葉



Interior Zukan



その形状が麻の葉に似ているところからこう呼ばれるが完全な幾何学模様である。近世、文化、文政頃、京阪を中心とした女性の間で流行した。また真直ぐに伸びる麻にあやかって子供の産着、下着の文様として用いられた。

●七宝



Interior Zukan



七宝は仏教で7種の金属、宝石類を称したところから貴金属、宝石類のを多彩な装飾の形容として用いられた。七宝焼きの名はこの七宝を転用したものとみられるが、文様と七宝とのつながりは明らかではない。



●まんじつなぎ

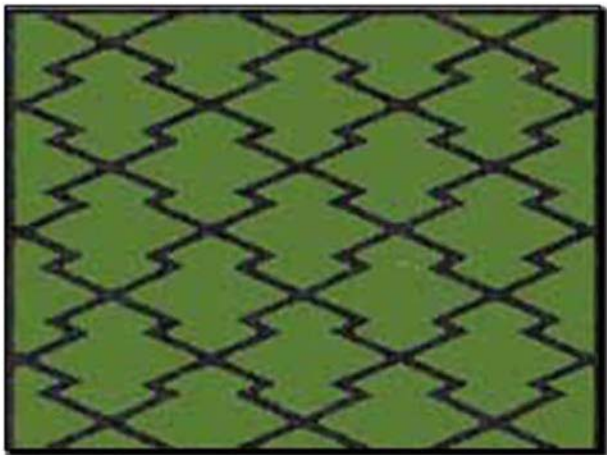


卍形の文様。多くその連続模様を言い、「菱万字」「渦万字」など変形、連続の文様が多い。江戸時代、舶来の絹織物、紗綾に多く用いられていたところから「紗綾形」ともいう。

●松川びし



Interior Zukan



菱形の上下にさらに小さな菱形を重ねた形の文様。また、その連続模様を言い、それに花をはめ込んだ「花松皮菱」などもある。松の樹皮の割れ方に似ているところからいう。松皮とも。



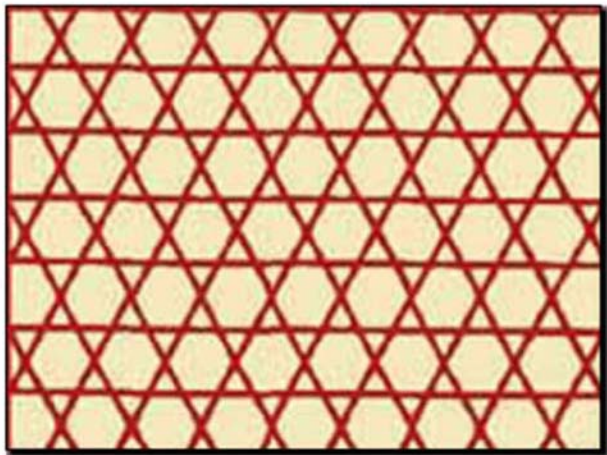
Interior Zukan

●青海波(せいがいは)

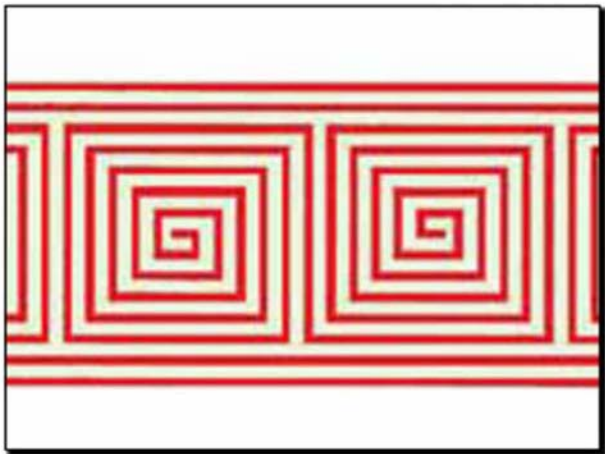


渦を4分したような形の文様をいくつも重ねたもの。雅楽「青海波」舞楽の時にもちいる、波形を描いた衣服の染文様にちなむ名称。

●かご目



竹籠の編み目のような文様。籠目状に染め出した小紋。籠目は普通、連続文様で表されるが、構成単位のひとつだけ取り出した紋所もある。



稲妻をかたどり、屈折した直線によって構成した文様。特に中国では古代から愛好され、土器、骨器、彩陶、銅器などに施され、今も中国の器によく見られる。



Interior Zukan

●市松



江戸時代中期の歌舞伎役者、初代佐野川市松が舞台衣装の袴（かみしも）に用いて流行して以来、広く市松模様と呼ばれる。

●バロックのアカンサス



アカンサスは、古くギリシャ、ローマ時代から、文様として使われている。地中海地域、西アジア原産の葉アザミのこと。アカンサスの飾りは、お供え物で、瓦で蓋をしたお供え籠の下から、アカンサスが芽を出し籠を包んでしまったのが原形だそうです。



Interior Zukan

●アラベスク



フランス語で、「アラビヤ風」の意。蔓草に似た優美な曲線の交錯の中に、様式化した植物をモチーフとして取り入れた文様。